

秋田県における子ども農山漁村交流プロジェクト

概要

秋田県が、「秋田発・子ども双方向交流プロジェクト」として、都市（東京・千葉・埼玉）と秋田県の小学生交流を実施（H22年度8校）

内容

活動場所

- ・東京・千葉・埼玉
- ・秋田県内

日程

- ・都市部（東京・埼玉・千葉県）の訪問（2泊3日）
- ・秋田県での交流（2泊3日）

活動内容

- ・都市部：都市生活体験（ホームステイ）
- ・秋田県：農村生活・雪国生活体験（民泊）

ポイント

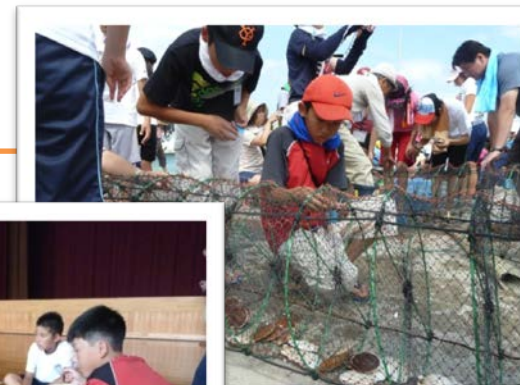
- ・都市と地方の交流を通じて地域の魅力を再発見
- ・知事部局と教育委員会との連携による推進
- ・モデル事業による成果と課題の把握を元に次年度の事業を展開



大館市(秋田県)における子ども農山漁村交流プロジェクト

概要

大館市立釈迦内小学校(秋田県)6学年全員が、夏期休業中に2泊3日の体験活動を実施。(秋田発・子ども双方向交流事業)



内容

活動場所

- ・北海道木古内町 (木古内まちづくり体験観光推進協議会)

日程

- ・7月夏期休業中 2泊3日

1日目 漁業体験(ホタテ貝養殖・漁船体験等)

2日目 漁業・酪農・農業の体験(こんぶ干し・搾乳・野菜収穫体験等)、木古内小学校・地元子ども会との交流

3日目 漁業・酪農の体験(こんぶ干し・搾乳体験等)、清掃奉仕活動・自然散策



活動内容

- ・漁業・酪農・農業体験と受入先の地元小学校・子ども会の交流を組み合わせた集団宿泊活動
- ・全学年で進める「ひまわりプロジェクト」とともにキャリア教育としての漁業・酪農・農業の体験

ポイント

- ・釈迦内小学校が進める「ひまわりプロジェクト」の収益を活動費として活用。
「ひまわりプロジェクト」・・・地域の皆さんと栽培、収穫した「ひまわり」より、「ひまわり油」を製油・販売。実践的キャリア教育として取り組む。
- ・夏期休業中であることを活かして、他学年の教師にも応援を要請して対応



胎内市(新潟県)における子ども農山漁村交流プロジェクト

概要

胎内市(新潟県)では、市内全小学校5学年が、ふるさと体験活動で農家泊を含め2泊3日(6校)・4泊5日(1校)の体験活動を実施。

内容

活動場所

- ・胎内アウレツ館
- ・市内農家(胎内型ツーリズム推進協議会301人会)

日程

- ・6月～10月
- 胎内アウレツ館において自然体験
(つみくさ体験、たき火体験、ブナ林トレッキング等)
- 農村生活体験
(農作業などの生活体験等)

活動内容

- ・自然体験を中心とした集団宿泊活動
- ・受入の経験が豊富な農家に宿泊(1～2泊)

ポイント

- ・市内全小学校5学年が、市内で農家泊を含めた体験活動を実施。
- ・市外の学校の受入れを市内学校(校長会)と市のグリーツーリズム推進協議会が一体となって推進



飯田市(長野県)における子ども農山漁村交流プロジェクト

概要

飯田市立浜井場小学校(長野県)が、市内の中山間地域に宿泊をとまなう農山村・伝統文化体験活動を実施。

内容

活動場所

・飯田市上村・南信濃地区(遠山地区)

日程

- 5月 宿泊体験の事前学習(日帰り)
- 7月 下栗地区での農家宿泊 (1泊2日)
- 11月 木沢地区での農家宿泊 (1泊2日)
- 12月 木沢中立地区霜月祭に参加 (1泊2日)
- 2月 遠山地区の皆さんを招待して交流会

活動内容

- ・木沢地区の廃校(旧木沢小学校)を教室にした事前学習
- ・下栗・木沢での農作業体験・農家宿泊・木沢地区に伝わる霜月祭り(国指定重要無形民俗文化財)に参加

ポイント

- ・(1泊2日)×3回で、教師の負担を軽減
- ・地区と学校の調整を行うコーディネーターの設置



京都市(京都府)における子ども農山漁村交流プロジェクト

概要

京都市内の全小学校(173校)の5年生(原則)が、1週間程度の宿泊型自然体験活動を実施(長期宿泊・自然体験推進事業)



内容

活動場所

・京都市野外活動施設 花背山の家 他

日程

4泊5日または5泊6日

4泊5日の例

- 1日目 入所式、魚つかみ、魚さばき体験、野外炊事
- 2日目 ハイキング、野外炊事、天体観察
- 3日目 民泊の方との対面式・交流会、各民家でのプログラム・夕食、民泊
- 4日目 川遊び体験、民泊の方とのお別れ会、キャンプファイヤー
- 5日目 フィールドアスレチック、退所式



活動内容

- ・自然のよさを生かした様々な体験活動(野外活動、登山、天体観察、農業林業体験、民泊等)
- ・規律正しい集団生活と生活習慣の確立を図る活動(テント泊、野外炊事、清掃活動等)

ポイント

- ・学校運営協議会、学校支援ボランティア、学生ボランティア、地元自治振興会等の参画により地域と共同で実施
- ・子ども同士のみならず、先生、ボランティア、地域住民など様々な人との交流による豊かな社会性の育成
- ・地元自治振興会と教育委員会との間で定例連絡会を設置し、民泊等の共同プログラムを開発
⇒ 受入可能な場合には日程に民泊(豊かな体験活動推進事業)を組み込む

西条市(愛媛県)における子ども農山漁村交流プロジェクト

概要

西条市立飯岡小学校(愛媛県)が、夏期休業中に4泊5日の体験活動を実施。

内容

活動場所

- ・石鎚ふれあいの里、西条市丹原町
(西条市グリーン・ツーリズム協議会)

日程

- ・8月夏期休業中 4泊5日
- 1～2日目 石鎚ふれあいの里において自然体験
(石鎚登山、星の観察、野外炊事、川の観察等)
- 3～5日目 丹原町において農業体験・農家民泊
(ブドウ手入れ、ブルーベリー収穫、ヤギの世話等)

活動内容

- ・自然体験と農業体験を組み合わせた集団宿泊活動
- ・グリーンツーリズム受入の経験が豊富な農家に農家民泊(2泊)

ポイント

- ・夏期休業中であることを活かして教員養成学部生にボランティアを要請。また、他学年の教師にも応援を要請
- ・市のグリーンツーリズム協議会が農家と学校の仲介役に

